



みらいこども園

4月号

2019年4月 8日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 勝浦 芳子

: ° ☆。 , :: ★。 , :*: ° ☆。 ° * : * : °。 , : : *



ご入園・ご進級おめでとうございます

春風のさわやかな季節となり、『令和』という新しい年号と共に、満開の桜が園児達を笑顔で迎えています。ご進級・ご入園おめでとうございます。

みらいこども園創立から、多大なる尽力を注いでいただいた長南園長よりバトンを受け取り、今年度から園長として就任いたしました勝浦芳子と申します。微力ではございますが、大役を引き継いだことを深く認識し、一生懸命努めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

本年度は、67名の新入園児を迎え、総数220名の園児達がみらいこども園で、乳幼児期の生活を送ります。引き続き、本園の理念を大切に、園児一人一人が、遊びを通して伸び伸びと主体性をもって園生活を送り、お互いを思いやり、個性を尊重しながら資質や能力を育ていけるよう、職員一丸となって環境を整えて参ります。どうぞ安心してお子様をお預けください。

さて、先日、あのイチロー選手が、28年間の日米野球界での現役生活にピリオドを打ちました。引退を表明した最後の試合で、多くのファンが、深夜のスタジアムに残り、最後の雄姿を讃えていました。その後、記者会見においてイチロー選手は、「ここまで野球を続けられたのも、自分だけの力だけではなく、たくさんの方々の支援のお陰であり、今日の出来事も野球人生において忘れられないものとなった。心から感謝したい。また、ひとつのことをやり続けるということはとても難しいことではあるが、自分で決めたことは、先ずチャレンジしてみることに、始めから諦めてはいけない」という、信念を貫いたスーパースターの言葉に改めて感動し、努力の継続やそれを支える周囲の力の大切さを感じました。

我がみらいこども園の子ども達も、園生活を送る中で、たくさんの方のことを学び、感性を磨きながら、夢を見つけて、未来に輝く人になる基礎を培って欲しいと心から願います。そして職員一同は、常に連携をとりお子さま一人一人に目を向け、誠心誠意保育してまいります。本園に対する皆様方からの心からの応援も大きな力となります。どうぞ、今後ご理解とご協力をお願いいたします。

進級児のAちゃんが泣いていました。その側で新入児も泣いています。ふと気付いたAちゃんはそっと近づいて、頭をなでていました。言葉はなくても伝わるものが見えた優しい時間でした。目に見えないものも大切にしたい気持ちをもって過ごしていきたいと思います。柳鶴聡美

新しい生活が始まり、お家の方と離れることに涙する姿が見られます。一人一人が今の気持ちを真っ直ぐに表出できるよう、「そのままいいんだよ」という思いで、日々を重ねていけるようにしたいものです。三ツ橋知子

桜が庭に舞い始め、新入園児の不安を訴える元気な泣き声が園内に響くとき、新年度の始まりを実感します。泣き顔が笑顔に変わる瞬間の喜びは、何とも言えない幸福感に包まれます。今年度は、みらいこども園も10周年を迎えます。勝浦園長他、新しい職員も5名加わり、新たな風が吹き始めています。今まで築き上げてきた9年の足跡を見直しながら、安心して遊び込める保育の充実と向上に努めて参りたいと思います。1年間よろしく願いいたします。中城真由美

